

# 令和3年度版 飛騨・美濃じまん白書



令和2年度 飛騨・美濃じまん運動の進捗について

岐阜県観光国際局

# 目次

## 第1章 岐阜県の観光の現状

1 本県の観光の現状	
～令和2年岐阜県観光入込客統計調査より～	
(1) 観光入込客数及び観光消費額	1
(2) 観光地点別の集客数（県内トップ10）	2
(3) 行祭事・イベント入込客数（県内トップ10）	3
(4) 観光客の内訳	3
(5) 外国人宿泊客数	5
(6) 経済波及効果（試算）	5

## 第2章 「観光王国飛騨・美濃」に向けて実施した主な取組み

1 観光消費拡大につながる質の高い観光資源づくり	
(1) 広域周遊観光の核づくり	
①広域観光の核となる関ヶ原古戦場の魅力づくり	6
②「東美濃歴史街道」を核とした周遊観光の促進	7
③大河ドラマ「麒麟がくる」を活かした魅力づくり	8
(2) 「岐阜の宝もの」等観光資源の市場化	9
2 主要観光地の魅力を活かした観光誘客プロモーション	
(1) 「世界に誇る遺産」等を核とした誘客	
①3大都市圏における「清流の国ぎふ」の魅力発信	11
②世界に誇る遺産等を活用した周遊型観光の促進	12
③世界に誇る遺産等を活用した滞在型観光の促進	13
④世界に誇る遺産等を活用した集中的な海外プロモーション	14
3 世界に選ばれる観光地域づくり	
(1) 競争力の高い観光地域づくり	
①観光人材の育成・確保	15
②広域的な観光地域づくり	16
(2) ユニバーサルツーリズムの普及	
①バリアフリー観光の普及促進	16
②外国人観光客の受入環境整備の支援及び情報発信	16

## 参考資料

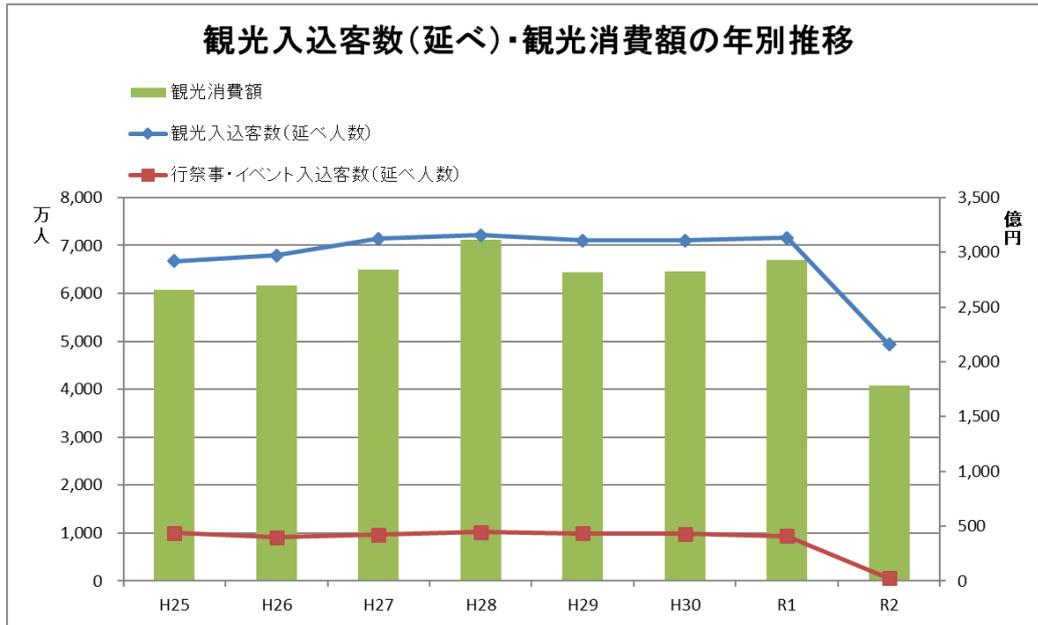
1 みんなでつくろう観光王国飛騨・美濃条例	18
2 「清流の国ぎふ」憲章	21

# 1

# 岐阜県の観光の現状

## 1 本県の観光の現状 ～令和2年岐阜県観光入込客統計調査より～

### (1) 観光入込客数及び観光消費額



区 分		R 2 [2020]年 (対前年比)	参考：R 1 [2019]年
観光入込客数 (延べ人数)		4, 935万7千人 (△31.1%)	7, 162万人8千人
行祭事・イベント入込客数 (延べ人数)		57万7千人 (△93.8%)	934万4千人
観光消費額	全 体	1, 784億51百万円 (△39.2%)	2, 932億83百万円
	日帰り客	950億94百万円 (△34.9%)	1, 461億33百万円
	宿泊客	833億56百万円 (△43.4%)	1, 471億50百万円

※平成23年の調査より、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」を導入し、調査手法を変更している。

※千人未満を四捨五入しているため、対前年比に誤差が生じることや、内訳の計と合計が一致しないことがある。

○**観光入込客数 (延べ人数)** は、4, 935万7千人 (対前年比△31.1%) となり、前年に比べ減少した。

**行祭事・イベント入込客数 (延べ人数)** は、57万7千人 (対前年比△93.8%) となり、前年に比べ減少した。

※なお、**観光入込客数 (実人数)** は、3, 451万1千人 (対前年比△28.1%) と、前年に比べ減少した。

○**観光消費額**の総額は1,784億51百万円（対前年比△39.2%）で、うち日帰り客分は950億94百万円（対前年比△34.9%）、宿泊客分は833億56百万円（対前年比△43.4%）であった。

○**主な傾向**は、以下のとおり。

- ・令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響により、観光入込客数（延べ人数）、行祭事・イベント入込客数（延べ人数）、観光消費額がそれぞれ大幅に減少した。
- ・一人当たりの平均観光消費額は、日帰り客分、宿泊客分ともに減少した。

日帰り：	3,494円	→	3,073円	（対前年比△12.0%）
宿泊客：	23,830円	→	23,394円	（対前年比△1.8%）

- ・外国人延べ宿泊客数については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大幅な減少となった（166.0万人→28.9万人）。

## （2）観光地点別の集客数（県内トップ10）

（単位：万人）

順位	観光地点名	入込客数	参考：R1[2019]年	
			順位	入込客数
1	土岐プレミアム・アウトレット	510.8	1	668.3
2	河川環境楽園（アクア・トトぎふ含む）（各務原市）	291.1	2	477.5
3	高山市街地エリア	159.8	3	382.7
4	湯の華アイランド（可児市）	143.5	5	168.5
5	伊奈波神社（岐阜市）	138.2	7	147.5
6	千代保稲荷神社（海津市）	128.6	6	160.6
7	千本松原・国営木曾三川公園（海津市）	99.4	9	136.4
8	岐阜公園	80.1	11	102.2
9	下呂温泉（旅館の宿泊利用及び日帰り利用）	72.1	10	122.5
10	白川郷合掌造り集落	67.0	4	203.1

○観光地点毎の入込客数は、1位から3位までの地点の順位に変動はなかった。

○新型コロナウイルス感染症の影響により、「土岐プレミアム・アウトレット」は23.

6%減、「河川環境楽園（アクア・トトぎふを含む）」は39.0%減、「高山市街地エリア」は58.2%減となるなど、県内の主要観光地点における観光入込客数（延べ人数）は軒並み減少となった。

○また、令和2年7月豪雨災害の影響による主要道路の通行止めについても、観光入込客数（延べ人数）の減少の一要因となった。

(3) 行祭事・イベント入込客数（県内トップ10）

（単位：万人）

順位	行祭事・イベント名	入込客数	参考：R1[2019]年	
			順位	入込客数
1	花火物語（下呂市）	11.3	49	4.7
2	チューリップ祭（海津市）	8.8	10	20.6
3	十日市（中津川市）	5.8	38	5.8
4	いでゆ朝市（下呂市）	5.4	25	9.2
5	七日市（恵那市）	5.0	46	5.0
6	城下町大垣イルミネーション	3.4	60	3.5
7	元気ハツラツ市（大垣市）	2.9	8	28.5
8	安八梅まつり	2.5	43	5.3
9	あかりの町並み美濃	2.2	76	2.8
10	六斎市（中津川市）	1.7	47	5.0

○新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどの行祭事・イベントが中止となった。

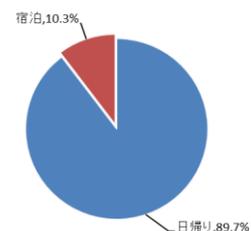
(4) 観光客の内訳

①日帰り・宿泊別観光客数（実人数）

区 分	R 2 [2020]年（対前年比）	参考：R 1 [2019]年
全 体	3,451万1千人（△28.1%）	4,799万5千人
日帰り客	3,094万8千人（△26.0%）	4,182万人
宿 泊 客 【うち外国人】	356万3千人（△42.3%） 【13万2千人（△88.7%）】	617万5千人 【116万7千人】

令和2年の観光入込客数（実人数）は3,451万1千人であったが、これを日帰り・宿泊別にみると、日帰り客は3,094万8千人、宿泊客は356万3千人であり、依然として日帰り客が多い。（図1）

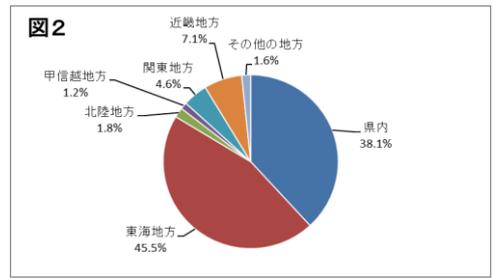
図1



## ②居住地別観光入込客数

居住地別に見ると、県全体では県内客は1,316万4千人（構成比38.1%）、県外客は2,134万7千人（構成比61.9%）と、県外客が多くを占めた。

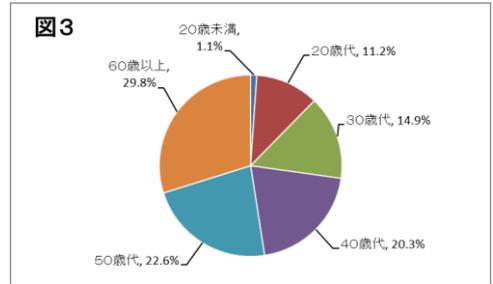
県外客のうちおおよそ7割が東海地方からの観光客であり、以下近畿地方、関東地方と続いている。（図2）



## ③男女別・年齢別観光入込客数

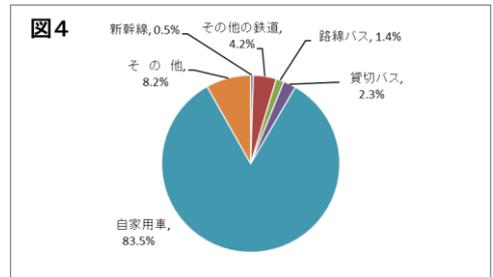
男女別で見ると、男性が2,100万4千人（構成比60.9%）、女性は1,350万7千人（構成比39.1%）と前年に引き続き男性が多かった。

なお、年齢別では、60歳以上が29.8%と最も多く、続いて50歳代、40歳代、30歳代とつづく。（図3）



## ④利用交通機関別観光入込客数

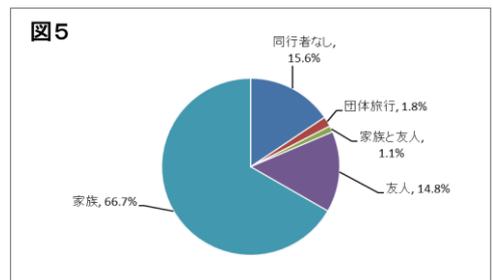
利用交通機関別に見ると、自家用車が最も多く全体の83.5%を占め、鉄道や路線バスなどの公共交通機関の割合は低い。（図4）



## ⑤同行者人数別観光入込客数

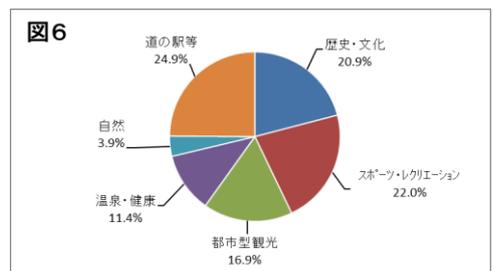
同行者人数別に見ると、「(本人を含め)2～3人」が最も多く全体の68.2%を占め、続いて「(本人を含め)4～5人」が13.3%であった。

なお、同行者別に見ると、「団体旅行」の割合は全体の1.8%にとどまり、「家族」が66.7%と最も多く、次いで「同行者なし」が15.6%と個人旅行が主流となっている。（図5）



## ⑥観光地分類別観光入込客数

観光地分類別に見ると、「道の駅等」、「スポーツ・レクリエーション」、「歴史・文化」の順に多く、以下、「都市型観光」、「温泉・健康」、「自然」と続く。（図6）



#### (5) 外国人宿泊客数

外国人の宿泊者数（延べ人数）は28.9万人であり、新型コロナウイルス感染拡大の影響で大幅に減少し、対前年比マイナス82.6%となった。国籍別に見ると、中国が4.7万人で最多、次いで台湾4.2万人、タイ2.6万人と続いている。 出典) 観光庁「宿泊旅行統計調査」(令和2年1月～12月)

#### (6) 経済波及効果（試算）

令和2年の県内観光消費による経済波及効果（観光関連産業の経済波及効果）を試算したところ、生産誘発額は2,601億21百万円、就業誘発効果は、22,868人となった。

# 2

## 「観光王国飛騨・美濃」に向けて実施した主な取り組み

### 1 観光消費拡大につながる質の高い観光資源づくり

#### (1) 広域周遊観光の核づくり

##### ①広域観光の核となる関ヶ原古戦場の魅力づくり

関ヶ原古戦場は、壬申の乱、関ヶ原の戦いと天下分け目の合戦が2度繰り広げられた場所であり、歴史資源としての知名度も高い。さらに、近隣には墨俣一夜城や岐阜城など、戦国時代にまつわる資源が多く存在することから、関ヶ原古戦場を核とした滞在・周遊型観光の促進に向け、平成27年3月に策定した「関ヶ原古戦場グランドデザイン」に基づき、観光客受入環境の整備、関ヶ原の魅力発信の強化を行った。

#### ■岐阜関ヶ原古戦場記念館の開館

岐阜関ヶ原古戦場記念館（以下「記念館」という。）を10月21日に開館。

#### ■記念館オープンイベントの開催

##### ・記念式典

[日 時] 10月21日(水)

[内 容] 来賓を招いて式典及び内覧会を開催

##### ・オープン記念講演会

[日 時] 10月21日(水)～12月

[内 容] 関ヶ原の戦いにゆかりのある武将の子孫トーク及び著名人を招いた講演会を合計4回開催

##### ・ドライブインシアター

[日 時] 10月23日(金)、24日(土)、25日(日)

[会 場] 笹尾山グラウンド

##### ・町内飲食店巡りスタンプラリー

##### ・関ヶ原町内周遊スマホ・スタンプラリー

##### ・「麒麟がくる」連携PR事業

[日 時] 11～12月

[会 場] 記念館1階広域観光情報コーナー 他

[内 容] NHK大河ドラマ「麒麟がくる」及び「麒麟がくる推進協議会」8市町のPRパネル等を設置し来館者に向けたPRを実施。

##### ・市町村連携事業（観光PR）

[日 時] 令和3年1月～

[会 場] 記念館1階広域観光情報コーナー 他

- [内 容] ・各市町村の観光PRパネル等を設置し来館者へ向けたPRを実施
- ・令和3年1月26日～2月28日：垂井町  
(毛利秀元、長宗我部盛親、吉川広家など)
  - ・令和3年2月20日～3月28日：輪之内町（丸毛兼利）

#### ■史跡の整備

関ヶ原町が行う決戦地の周辺整備や史跡案内サインの設置等を支援した。

#### ■史跡案内サインの設置

関ヶ原町が行う解説サイン2基、誘導サイン15基の設置を支援した。

#### ■記念館オリジナル商品の開発

記念館オープンに合わせ、記念館売店でしか購入できないオリジナルグッズ約200アイテムを開発した。

#### ■MR・VRコンテンツの制作

専用ゴーグルを通して関ヶ原の戦いをダイジェストで体験することができるMRシステムコンテンツを制作した。

スマートフォン及びPC上で関ヶ原古戦場の史跡を360度立体視できるVRコンテンツを制作した。

#### ■動画PRコンテンツの制作

記念館プロモーション映像及びクリス・グレンによる英語で学ぶ「関ヶ原の戦い」動画を公式YouTubeチャンネルで公開した。

### ②「東美濃歴史街道」を核とした周遊観光の促進

2027年のリニア中央新幹線開業を見据え、「岐阜県駅」周辺の周遊観光を促進するため、歴史資源が豊富な同地域の中山道及び国道257号沿線を「東美濃歴史街道」と位置づけ、地元行政・観光関連団体と連携し、地歌舞伎や中山道、東美濃の山城、陶磁器産業等を核とした伝統文化、産業観光地域づくりを推進する取組みを実施した。

#### ■東美濃歴史街道観光の推進

リニア沿線市町の広域的な周遊滞在、観光消費額の増加を図るため、観光施設や体験施設などで「おもてなし特典」を受けられることができる「観光パスポート事業」を実施した。

(東美濃観光パスポート)

[期 間] 9月1日(土)～令和3年2月28日(日)

[参加施設] 378施設

[パスポート発給数](紙版) 13, 129冊

(アプリ版登録者数) 2, 943人

### ③大河ドラマ「麒麟がくる」を活かした魅力づくり

令和2年の大河ドラマ「麒麟がくる」の放送を絶好の機会と捉え、県と明智光秀ゆかりの県内8市町の行政、観光協会で構成する「岐阜県大河ドラマ『麒麟がくる』推進協議会」を中心に、ゆかりの地の「情報発信」「誘客促進」「受入環境整備」の取り組みを進めた。

#### ■情報発信事業

- 大河ドラマ関連雑誌や歴史関連雑誌(計15誌)や新聞等へのPR出稿の実施
- 大河ドラマ館・明智光秀ゆかりの地PRチラシ等の作成(計10,000枚)等

#### ■誘客促進事業

- PR展示の実施、PRブース出展
  - ・お城EXPO2020(12月19日～20日パシフィコ横浜)
  - ・本能寺でのPRイベント(9月12日～13日)
  - ・東京駅KITTEでのPRパネル展(令和3年1月4日～11日)
  - ・岐阜関ヶ原古戦場記念館(10月21日～12月20日)
  - ・岐阜県博物館(10月18日～11月15日)
  - ・FC岐阜ホームゲーム等でのブース出展
  - ・サカエチカショーウインドウでのパネル展示(9月1日～30日)
- 明智光秀ゆかりの地セミナーの開催
  - ・OKB Harmony PLAZA 名駅(8月～10月 計5回)
- 周遊企画
  - ・明智光秀ゆかりの地岐阜周遊クイズラリー(計3回 参加者数1, 858人)
  - ・スマートフォンアプリラリー(2コース 参加者数計15, 717人)
  - ・戦国宝探し(8月1日から11月30日 参加人数2, 778人)



#### ■受入環境整備事業

- ・「麒麟がくる」推進協議会ロゴマーク認証商品の開発  
(認証数125社、1, 040商品)
- ・戦国みやげオンラインサイト「戦国百貨繚乱」の運営(9月～令和3年3月)
- ・市町等が実施する、明智光秀ゆかりの地の魅力向上、情報発信の取り組みを支援

## (2)「岐阜の宝もの」等観光資源の市場化

県民一人ひとりが考えるふるさとのじまんを募集した中から、全国に通用する観光資源となることが期待される「岐阜の宝もの」を6件、それに次ぐ「明日の宝もの」を10件認定し、地域が主体となった地域資源の魅力向上に向けた取組みを支援してきた。

平成25年度からは、これまでに掘り起こし、磨き上げてきた「岐阜の宝もの」等の新たな観光資源と既存の有名観光資源等との連携を促進し、周遊性を高めることにより、滞在時間の増加による観光消費の拡大に資するための取組みを推進している。

岐阜の宝もの	小坂の滝めぐり、東濃地方の地歌舞伎と芝居小屋、乗鞍山麓五色ヶ原の森、天生県立自然公園と三湿原回廊、中山道ぎふ17宿、東美濃の山城
--------	--

### ■メディアと連携したプロモーションの実施

岐阜新聞社及び岐阜放送が主催の「オンライン夢花火「I LOVE GIFU 岐阜の宝もの」と連携し、「岐阜の宝もの」等を背景としたデジタル打ち上げ花火の映像を制作し、各種媒体にてプロモーションを実施した。

- ・岐阜新聞WEBサイト内に特設ページを開設（8月11日～10月31日）
- ・YouTubeによる配信（8月26日～）
- ・岐阜放送での放映（8月30日）

### ■「清流の国ぎふ」観光回廊づくり推進事業費補助金

本県の恵まれた地域資源・地域特性を活かし、県内の周遊性、滞在時間等を増加させるため、地域主体の広域的な連携や役割分担による取組みに対して、支援を行った。

- ・令和2年度交付件数：20件

### ■中部山岳国立公園トレッキング・ツーリズム推進事業

飛騨エリア既存の有名観光資源に加え、岐阜の宝ものや中部山岳国立公園等の自然資源を中心とした、体験型周遊観光（トレッキングツーリズム）を推進するため、プロモーションの強化や旅行商品の造成販売を行った。

- ・YAMAP、山と溪谷社等のアウトドアメディアと連携したPR
- ・濃飛バス等と連携した自然アクティビティを活用した旅行商品の造成・販売



## ■「中山道ぎふ17宿歩き旅」の推進

「中山道ぎふ17宿」の更なる魅力向上と、沿線関係者の連携強化、地域における運営体制の構築をめざし、各種プログラムの開発・ブラッシュアップ、人材育成、情報発信等を展開。秋、春の2季にかけて、シンボルイベントとなる「中山道ぎふ17宿歩き旅」を開催した。

(中山道ぎふ17宿歩き旅 秋)

[期 間] 9月26日(土)～11月29日(日)

[内 容] 体験・散策プログラム(25プログラム、参加375人)  
ウォーキングプログラム(4プログラム、参加287人)

(中山道ぎふ17宿歩き旅 春)

[期 間] 令和3年2月6日(土)～3月21日(日)

[内 容] 体験・散策プログラム(19プログラム、参加103人)  
ウォーキングプログラム(2プログラム、参加149人)



ウォーキングプログラム

## ■地歌舞伎と芝居小屋を活用した観光誘客の促進

「岐阜の地歌舞伎と芝居小屋」の認知度向上を図り、県内への誘客を促進するため、地歌舞伎WEB鑑賞会を開催。事前収録した演技を案内人の生解説のもと鑑賞するプログラムを実施した。

- ・地歌舞伎WEB鑑賞会 6回開催(全てオンラインでの開催)

[参加者] 23人



地歌舞伎WEB鑑賞会

## 2 主要観光地の魅力を活かした観光誘客プロモーション

### (1) 「世界に誇る遺産」等を核とした誘客

#### ① 3大都市圏における「清流の国ぎふ」の魅力発信

観光の基幹産業化に向けて、首都圏、関西圏、中京圏を中心に「清流の国ぎふ」のプロモーションを展開した。

#### ■京王電鉄連携事業【首都圏】

飛騨地域観光協議会（県・高山市・飛騨市・下呂市・白川村）において、京王電鉄（株）の運営する「中部地方インフォメーションプラザ in 京王新宿」へ年間を通じて映像の放映を実施し、パンフレットを設置。

（4月1日～令和3年3月31日 来場者数：71,496人）



#### ■観光PRコーナーの設置【関西圏】

関西岐阜県人連合会と連携し、大阪府箕面市内の地域交流・情報発信施設「彩都やまもり」内に観光PRコーナーを設置し、情報提供を実施した。

- ・観光PRコーナーの設置（来場者数：7,341人）
- ・観光企画展の実施（毎月）

#### ■関西プロモーション事業【関西圏】

飛騨地域観光協議会において、関西方面での認知度向上、観光誘客促進のため、読売テレビの朝の情報番組にて飛騨地域を紹介（令和3年3月29日、30日）。SNSを活用した情報発信を展開。



■観光PRキャラバン隊によるプロモーション

観光PRキャラバン隊を各地で開催されるイベント等に派遣し、岐阜県の観光の魅力をPRした。

- ・年間62回派遣（首都圏1回、関西圏1回、中京圏60回）

②世界に誇る遺産等を活用した周遊型観光の促進

■「速旅快走G（ギフ）割！岐阜県周遊ドライブプラン」の販売

NEXCOC中日本と連携し、県内の高速道路が定額で乗り放題となる「速旅快走G割！岐阜県周遊ドライブプラン」を造成・販売した。（利用件数：3,412件）



■近隣県と連携した広域観光の推進

○富山県と連携した広域観光の推進

- ・岐阜県飛騨地域及び富山県の周遊エリア内の高速道路が2日間または3日間乗り放題となる「飛騨・富山ドライブプラン」の造成・販売（利用件数：1,448件）



○愛知県・三重県と連携した広域観光の推進（産業観光ネットワーク形成推進事業）

愛知県・三重県と連携して、3県の産業観光施設や武将観光施設を巡るスタンプラリーを実施した。これにより3県の産業観光施設の魅力を一体的にPRすることにより、観光誘客を促進し、3県の観光交流人口の拡大を図った。

- ・産業観光・武将観光PRパンフレット「見にトリップ・戦トリップ」の作成
- ・「見にトリップ・戦トリップ」掲載施設を巡るスタンプラリーの実施

令和2年度応募数 2,546通

○環白山エリアへの誘客の促進

環白山広域観光推進協議会（岐阜県・石川県・福井県及び関係市町村）において、プロモーションを実施した。

- (i) パンフレット、ポスターの作成・配布
- (ii) プラチナルート白山ドライブスタンプラリーの実施
- (iii) イベントの実施、広報宣伝

- ・いしかわ百万石物語展（8月25日～31日）
- ・「ぶらりMAP春夏号」（中日本エクシス（株）発行）の広告

- (iv) 出向宣伝・マスコミキャラバン

- ・ラジオ局（MROラジオ、FBCラジオ、CBCラジオ）での20秒CM（10月1日～31日）

- (v) インターネット広告の実施

- ・ターゲティング広告：Google、Yahoo（10月16日～31日、11月16日～27日）

■「清流の国ぎふ」観光回廊づくり推進事業費補助金

本県の恵まれた地域資源・地域特性を活かし、県内の周遊性、滞在時間等を増加させるため、地域主体の広域的な連携や役割分担による取組みに対して、支援を行った。

- ・令和2年度交付件数：20件

③世界に誇る遺産等を活用した滞在型観光の促進

■キャンペーン特設サイトの開設

テーマごとに市町村からの情報を集約し、キャンペーン特設サイトを開設した。

■体験予約サイトを活用した体験プログラムの販売

アクティビティジャパン、VISIT岐阜県の体験サイトで、キャンペーン特別体験プログラムを販売した。

### ■大手宿泊予約サイトの活用

県内宿泊施設がキャンペーン特別宿泊プランを「じゃらんnet」及び「楽天トラベル」で販売するとともに、キャンペーン期間中、それぞれのWEBサイト内に特設サイトを開設した。

### ■福利厚生代行サービス事業者の活用

福利厚生代行サービス事業者と連携し、岐阜県の宿泊を促進するキャンペーンを実施した。

- ・福利厚生代行サービス事業者のウェブページで岐阜県特集ページを開設

### ■PRツールの配付

昭文社の雑誌「ことりっぷ」特別版として、季刊情報誌「岐阜っぽ。」を企画・制作し、県内外でのイベント等で配布したほか、県内市町村（観光協会等）、高速道路のサービスエリア、JR東海の主要駅、道の駅などで配布した。



夏号（ 7月発行）	4万8千部
秋号（ 9月発行）	5万部
冬号（12月発行）	10万部（JR東海連携・主要駅へ配架）
春号（ 3月発行）	5万部（JR東海連携・主要駅へ配架）

## ④世界に誇る遺産等を活用した集中的な海外プロモーション

### ■アジア・欧米からの誘客促進

新型コロナウイルス感染症の終息後のアジア・欧米からの観光客の速やかな回復及び更なる誘客促進を目指し、アセアン諸国（タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム等）や東アジア諸国・地域（台湾等）、欧米諸国（アメリカ、イギリス等）、オセアニア（オーストラリア）を対象に、国の「ビジット・ジャパン（VJ）事業」や近隣県・関係機関等との連携のもと、各種誘客事業を展開した。

- ・現地における情報発信（観光レップ・PRエージェンシー等活用）  
 実施（委託）件数：13件  
 対象国：タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、中国、香港、フランス、  
 スペイン、アメリカ、イギリス、イタリア、オーストラリア
- ・海外旅行博等への出展  
 実施件数：1件  
 対象国：1地域 台湾

#### ■着地型体験コンテンツの造成・販売による誘客促進

欧米豪を中心とする個人旅行客の誘客を促進し、県内での宿泊及び観光消費額の増加を図るため、岐阜県の強みを活かした着地型体験コンテンツを造成し、オンラインによる販売促進プロモーションを実施した。

- ・岐阜県ならではの体験コンテンツの造成・販売  
 「サステイナブルツーリズム」：10件
- ・アクティビティ予約・販売サイトと連携したオンラインでの販売

#### ■杉原千畝を活用した誘客

ユダヤ系住民の多いアメリカにおいて、JNTOなど各機関と連携して、岐阜県観光情報を発信した。

- ・在LA日本国総領事館、ジャパンハウス、JNTOと連携して、杉原千畝をテーマにしたオンラインセミナーを実施
- ・JNTOと連携し、ユダヤ系旅行会社をターゲットにオンラインセミナーを実施
- ・JTB USAのWEBサイト内「岐阜県特集ページ」にて、観光情報を発信
- ・アメリカのユダヤ系メディアを招請し、杉原千畝関連施設や県内観光地の取材旅行を実施。岐阜県特集番組等を現地で放送。

## 3 世界に選ばれる観光地域づくり

### (1) 競争力の高い観光地域づくり

#### ①観光人材の育成・確保

##### ■旅館で働く魅力の発信とマッチングの拡大

本県観光産業を支える旅館・ホテルの主な業務内容や働くやりがい・魅力について紹介・発信するとともに、就職希望者と県内観光産業事業者とのマッチングを通して、観光産業の人材確保を促進。

- ・旅館の若女将等による大学等での出前講座の実施（全1回）
- ・学内合同説明会、転職フェア等でのPR（全4回）

## ②広域的な観光地域づくり

### ■長良川流域における周遊・滞在型観光地域づくりの推進

県と岐阜市・関市・美濃市・郡上市の行政・観光団体が連携し、長良川上・中流域に存在する魅力的な地域資源の情報発信や着地型商品の造成など、周遊・滞在型の観光地域づくりに向けた取組みを推進した。

- ・情報発信事業  
長良川STORYフォトコンテストの開催  
オンライン商談会への出展等PRの実施  
長良川流域PRパンフレットのリニューアル  
サイクリングコースPRのための動画作成
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策事業  
土産品造成及び情報発信の実施
- ・周遊滞在型商品造成事業  
体験型旅行商品の造成及び販売
- ・観光動向把握事業  
観光マーケティング調査

## (2) ユニバーサルツーリズムの普及

### ①バリアフリー観光の普及促進

誰もが安心して県内を旅行できる仕組みを構築し、新たな観光需要の創出による観光消費額の増加を図るため、障がい者団体等からなる岐阜県バリアフリー観光推進協議会と連携し、県内のバリアフリー状況などの情報発信を実施した。

- ・WEBサイト「ふらっと旅ぎふ」によるバリアフリー観光情報の発信



GO ON YOUR FLAT JOURNEY

ふらっと旅ぎふ

## ②外国人観光客の受入環境整備の支援及び情報発信

### ■インバウンド向けウェブサイト

令和元年度、(一社)岐阜県観光連盟と協働し、同連盟が運営するインバウンド向けウェブサイトについて、現在の主流となりつつあるデジタルマーケティングに対応し、施策立案に資する各種データの収集と分析が可能であり、外国人旅行者目線で写真や文章を作成することにより、視覚から旅行者をサイトに惹き込むものへ再構築した。令和2年度は、イタリア語、スペイン語を新たに追加し、対応言語を9か国語（英語、

フランス語、インドネシア語、中国語繁体字及び簡体字、韓国語、タイ語、イタリア語、スペイン語)とした。

- ・サイトアドレス <https://visitgifu.com/>

#### ■Web マップ・地図アプリを活用した誘客促進

観光施設や飲食店をはじめとする各種情報（営業時間やウェブサイト、電話番号、口コミ、アクセスマップ等）を無料で掲載・公開できる自動翻訳機能を持つ Google サービス（Google マイビジネス）への県内店舗等の登録促進や岐阜県の観光に対して興味関心を有する人々に対して、動画広告等を活用したプロモーションを実施した。

- ・Google マイビジネス登録者数：約 500 施設
- ・動画プロモーション等による「Visit Gifu」への流入者数：約 10 万人

#### ■外国人観光客受入環境整備事業費

県内事業者が行う外国人観光客の利便性向上を目的とした受入環境整備に必要な経費に対して財政支援を行った。令和2年度は、Wi-Fi 整備、免税店開設、多言語化、トイレ洋式化、決済端末導入準備等をメニューとし、増加する外国人観光客の受入整備を促進した。

- ・多言語化整備： 3 件
- ・Wi-Fi 環境整備： 10 件
- ・トイレ洋式化： 4 件
- ・決済端末導入準備事業： 1 件
- 合計：18 件

#### ■インバウンド向け外国語観光ガイド育成

本県を訪れる外国人の個人及び小グループ旅行を充実させ、旅行客のリピーター化や、SNSでの情報発信等による新規旅行客の獲得につなげるため、単なる観光案内だけでなく、本県の強み（自然、伝統・文化、匠の技など）を深く理解し、英語で的確に説明できる観光ガイドを育成するため、ガイドマニュアルを作成するとともに研修会を実施した。

- ・テーマ：第1回「高山市・白川村編」  
第2回「飛騨市・下呂市編」  
第3回「ぎふサステイナブル編」
- ・受講者数：91名（合計）

## <参考資料>

### 1 みんなでつくろう観光王国飛驒・美濃条例

平成19年7月9日公布  
岐阜県条例第39号

#### みんなで作ろう観光王国飛<sup>ひだ</sup>驒・美<sup>みの</sup>濃条例

私たちは、古くから「飛驒の国、美濃の国」と呼ばれてきたこの岐阜県を愛してやみません。

この地は、春には桜色に包まれ、夏には深い緑におおわれ、秋には森は赤や黄色に染まり、平野は黄金色に輝き、冬には白く雪化粧をするなど、自然の生みだす五色の彩りに恵まれています。

この地には、日本人の心のふるさとの原風景がいたるところにあります。

この地は、日本の東西交流の中心地として、重要な歴史の舞台になってきました。地の利をいかした独自の文化が生まれ、商いも活発に行われてきました。

そして、太平洋側と日本海側を南北に結ぶ交通網が充実する今日、飛驒・美濃は、日本の東西南北の交流の中心として、明日の舞台になろうとしています。

おりしも、団塊の世代の人々の癒しや自らの再発見を求めたふるさと回帰が進んでいます。

さあ、飛驒・美濃にとって大交流時代の幕開けです。

日本のふるさとの良さをすべて持った飛驒・美濃が、県内外の人たちに癒しを与え、心にゆとりを与えるところとして輝くときです。

観光は、単に観光産業だけではなく、製造業、農林水産業など、幅広く地域経済へ効果をもたらす、すそ野の広いものであり、みんなで大切に育てるべきものです。こうした観光による交流を広げる取組は、明日のふるさとづくりにつながります。

飛驒・美濃には、森林、河川、温泉などの素晴らしい自然、歴史、文化、産業など、日本の貴重な財産として、世界に誇れるものが満ちあふれています。

私たちは、自信を持って、各地から多くの人たちにこの地へ観光に訪れていただくため、総力をあげて、飛驒・美濃のじまんを知ってもらい、見つけだし、創りだす飛驒・美濃じまん運動を進めます。そして、飛驒・美濃を、誇りの持てるふるさとへと発展させていくため、観光王国飛驒・美濃を私たちみんなで作ります。

(めざすもの)

第一条 私たちは、飛驒・美濃のじまんを知ってもらい、見つけだし、創りだす飛驒・美濃じまん運動（以下「じまん運動」といいます。）に取り組むことで、観光産業を基幹産業として発展させ、もって飛驒・美濃の特性をいかした誇りの持てるふるさとをつくります。

(合い言葉)

第二条 私たちは、「知ってもらおう、見つけだそう、創りだそう ふるさとのじまん」を合い言葉に、じまん運動にみんなで取り組みます。

(県の役割)

第三条 県は、じまん運動についての総合的な施策を定め、計画的に取り組みます。

2 県は、県民、市町村、観光事業者、観光に関する団体などが、共通の認識のもとお互い連携できるよう、総合的な調整を行います。

3 県は、道路をはじめとした交通網など、観光に必要な基盤を整備します。

(じまん運動を進めるしくみ)

第四条 県は、じまん運動の方向性などを検討するしくみとして飛驒・美濃の観光を考える委員会（以下「委員会」といいます。）をつくります。

2 県は、飛驒・美濃全体にかかわるじまん運動を進めるしくみとして飛驒・美濃じまん県民会議（以下「県民会議」といいます。）をつくります。

3 県は、市町村などと協力して、それぞれの地域で、じまん運動を進めるしくみとして飛驒・美濃じまん地域会議（以下「地域会議」といいます。）をつくります。

4 県民会議と地域会議は、一体となってじまん運動を進めます。

(知ってもらおうふるさとのじまん)

第五条 私たちは、ふるさとのじまんで県内外の人たちに知ってもらうため、あらゆる機会を利用して積極的に情報を発信します。

2 私たちは、豊かな風土に育まれた農林水産物、匠の技により作りだされた地場産品などを積極的に活用するとともに販売します。

(見つけだそうふるさとのじまん)

第六条 私たちは、ふるさとの隠れたじまんを見つけたすため、ふるさとについて学びます。

2 私たちは、次の時代を担う子どもたちがふるさとに誇りを持つことができるよう、学校、地域、家庭などさまざまなところでふるさと教育を進めます。

(創りだそうふるさとのじまん)

第七条 私たちは、ふるさとのじまんで素敵なものに育てるとともに、新しいふるさとのじまんで創りだします。

2 私たちは、地場産業や地域産業が活発になるよう、ふるさとの特性をいかしたブランド力のある商品の開発に取り組みます。

(おもてなしの心)

第八条 私たちは、「いい旅 ふた旅 ぎふの旅」をキャッチフレーズに、飛驒・美濃に一人でも多くのお客様に何度でもお越しいただき、楽しんでいただくため、一人一人がおもてなしの心でお客様をお迎えします。

(美しい自然を守る観光)

第九条 私たちは、豊かで美しい自然を守るとともに、自然を観察したり体験しながらそのしくみを学び、大切に観光を積極的に進めます。

(ふるさとの文化にふれる観光)

第十条 私たちは、古いまちなみや素晴らしいふるさとの文化などを大切にし、後世に伝えるとともに、お客様にこの文化にふれていただける観光を積極的に進めます。

(ものづくりの心にふれる産業観光)

第十一条 私たちは、伝統技術を持つ匠の技や歴史的・文化的な価値の高い工場、機械設備などのものづくりの現場や製品などを通じて、ものづくりの心にふれる産業観光を積極的に進めます。

(周りの地域や団体との連携)

第十二条 私たちは、一人でも多くのお客様にお越しいただけるよう、周りの地域や広域的な観光に関する団体と連携し、協力してお客様をお迎えします。

(世界中の人たちとの交流)

第十三条 私たちは、観光施設の案内や表示をできるだけ多くの言語で書き表すなど、外国からのお客様に心から楽しんでいただけるよう心がけます。

2 県は、世界中から多くのお客様にお越しいただけるよう、外国との文化・経済交流、青少年の交流などを積極的に応援します。

(お客様にやさしいまちづくり)

第十四条 県は、市町村などと協力して、バリアフリーのやさしいまちづくりを進めるなど、年齢、性別、障害の有無などにかかわらず、お客様に楽しくすごしていただけるよう心がけます。

2 私たちは、観光施設のトイレをきれいにするなど、お客様に気持ちよく観光をしていただけるよう心がけます。

(飛騨・美濃じまんの日)

第十五条 県は、8月21日を飛騨・美濃じまんの日とします。

(飛騨・美濃じまん運動実施計画)

第十六条 県は、じまん運動を計画的に進めるため、飛騨・美濃じまん運動実施計画を定めます。

2 県は、飛騨・美濃じまん運動実施計画を定めるときや変更するとき、委員会と県民会議の意見をききます。

(飛騨・美濃じまん白書)

第十七条 県は、毎年度、じまん運動の成果を白書としてまとめ、評価や検証をし、次の運動につなげていきます。

(その他)

第十八条 この条例に定めることのほか、必要なことについては、知事が定めます。

#### 附 則

1 この条例は、平成十九年十月一日から施行します。

2 岐阜県観光審議会設置条例（昭和四十二年岐阜県条例第三十八号）は、廃止します。

## 2 「清流の国ぎふ」憲章

### 清流の国ぎふ憲章

～ 豊かな森と清き水 世界に誇れる 我が清流の国 ～

岐阜県は、古来、山紫水明の自然に恵まれ、世界に誇る伝統と文化を育んできました。豊かな森を源とする「清流」は、県内をあまねく流れ、里や街を潤しています。そして、「心の清流」として、私たちの心の奥底にも脈々と流れ、安らぎと豊かさをもたらしています。

私たちの「清流」は、飛騨の木工芸、美濃和紙、関の刃物、東濃の陶磁器など匠の技を磨き、千有余年の歴史を誇る鶺鴒などの伝統文化を育むとともに、新たな未来を創造する源になっています。

私たち岐阜県民は、「清流」の恵みに感謝し、「清流」に育まれた、自然・歴史・伝統・文化・技をふるさとの宝ものとして、活かし、伝えてまいります。

そして、人と人、自然と人との絆を深め、世代を超えた循環の中で、岐阜県の底力になり、100年、200年先の未来を築いていくため、ここに「清流の国ぎふ憲章」を定めます。

「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

**知**

清流がもたらした

自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます

**創**

ふるさとの宝ものを磨き活かし、

新たな創造と発信に努めます

**伝**

清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます

平成26年1月31日 「清流の国ぎふ」づくり推進県民会議

# 令和3年度版 飛騨・美濃じまん白書

～令和2年度 飛騨・美濃じまん運動の進捗について～

岐阜県 観光国際局

令和3年12月